

地球温暖化はどこまで解明されたか

<日本の科学者の貢献と今後の展望2006>

(地球温暖化研究イニシャティブ(気候変動分野)第二次報告書)

丸善株式会社、2006年3月末発行予定、B5版約250ページ、フルカラー

目次

はじめに

- 1 **世界と日本における地球温暖化研究の現状**
 - 1.1 国際的対応の進展と世界の温暖化研究
 - 1.2 わが国の温暖化研究

- 2 **地球温暖化にかかわる地球観測**
 - 2.1 研究成果の概要
 - 2.2 温室効果ガスなどの大気観測
 - 2.3 陸上生態系への吸収と放出
 - 2.4 海洋への吸収と放出
 - 2.5 気象の変化
 - 2.6 雪氷圏の変化
 - 2.7 今後の展望

- 3 **気候変動のプロセス研究**
 - 3.1 研究成果の概要
 - 3.2 衛星観測とモデルの結合による陸域生態系炭素収支の計測と評価
 - 3.3 人為起源エアロゾルの気候影響と地球放射収支の問題
 - 3.4 海洋モデルにおける混合過程の高精度化
 - 3.5 今後の展望

- 4 **地球環境のモデリングと将来予測**
 - 4.1 研究成果の概要
 - 4.2 高分解能大気海洋モデルによる地球温暖化シミュレーション
 - 4.3 地球温暖化による気象の変化
 - 4.4 地球温暖化予測とエネルギー環境政策
 - 4.5 生物・化学過程を取り入れた気候モデルの開発
 - 4.6 今後の展望

- 5 **地球温暖化の影響・リスク評価**
 - 5.1 研究成果の概要
 - 5.2 雪氷や自然生態系への影響
 - 5.3 農林水産業への影響

- 5.4 水資源, 水環境, 沿岸域, 国土保全への影響
- 5.5 人の健康への影響
- 5.6 市民生活への影響
- 5.7 経 済 影 響
- 5.8 今後の展望

6 **地球温暖化の抑制・適応政策**

- 6.1 研究成果の概要
- 6.2 気候変動を抑制するための長期目標
- 6.3 気候変動の抑制に向けた国際制度
- 6.4 気候変動への適応策
- 6.5 日本の脱温暖化シナリオ
- 6.6 排出抑制を進める政策措置
- 6.7 国内の行動主体の分析
- 6.8 今後の展望

7 **わが国の気候変動研究における今後の課題と展望**

- 7.1 はじめに
- 7.2 わが国における気候変動研究の戦略的な推進
- 7.3 今後推進すべき気候変動研究